

ドクヤマドリ *Boletus venenatus*

イグチ科ヤマドリタケ属

概要

地方名	
傘の大きさ*1	中型から大型
形と色*1	傘 : 8~20 cm 程度で比較的大型。まんじゅう型で黄褐色。 ひだ: 淡い黄色から黄褐色で、管孔によりスポンジ状に見える。傷つけると青く変色し、その後褐色となる。 柄 : 黄褐色
発生時期	夏から秋
発生場所	エゾマツ、シラビソ、ウラジロモミなど 1500 m 以上の亜高山帯針葉樹林の地上に発生する。富士山でよく見られる。
その他	
症状	食後 2 時間程度で嘔吐、下痢などの胃腸、消化器系の激しい中毒症状を示す。
毒性成分	マウス致死性のタンパク質ほか
間違いやすい食用きのこ	ヤマドリタケモドキ

詳細

1 特徴

(1) 毒性成分	(成分名)
	(構造式)
	マウス致死性のタンパク質
(2) 食中毒の型	(説明)
	(毒性成分の含量)
	(毒性発現機構)
(3) 中毒症状*2	嘔吐, 下痢など消化器系の中毒症状
(4) 発症時間	
(5) 発症事例*2	(症例1) 合計7回摂食した成人男性は, 7回目の摂食後, 2時間で激しい吐き気と下痢が現れ, 夜まで続いた。吐き気は翌日おさまり, 下痢は4日目まで続くも回復した。
	(症例2)
	(その他)
(6) 中毒対策	説明

2 毒性成分の分析法

毒性物質が明らかでないため, 分析法はなし。

(1)	(説明)
	(図解)

3 その他

諸外国での状況	
参考になる情報	

4 間違いやすい食用きのこ

1	一般名	ヤマドリタケモドキ
	学名	<i>Boletus reticulatus</i>
	発生場所	
	発生時期	
	形態	

引用・参考文献

- 1) 長沢栄史.「フィールドベスト図鑑 14 日本の毒きのこ」(株)学習研究社
- 2) 編著者:奥沢康正,久世幸吾,奥沢淳治.「毒きのこ今昔—中毒症例を中心にして—」(株)思文閣出版